

令和5（2023）年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

課題番号	共同研究種別	新規継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	分野名	氏名
23001	プロジェクト型	新規	全脳3Dイメージングによる統合失調症モデル動物のコネクトーム解析	和歌山県立医科大学	教授	那波 宏之	システム脳病態学分野	田井中 一貴
23002	プロジェクト型	新規	糖尿病に伴う認知機能障害の早期診断に寄与するバイオマーカーの探索	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター	部長	田口 明子	病理学分野	柿田 明美
23003	プロジェクト型	新規	ヒト手術検体を用いたてんかん原性機序の病態生理学的解明	公立小松大学	教授	北浦 弘樹	病理学分野	柿田 明美
23004	プロジェクト型	新規	筋萎縮性側索硬化症モデルマウスへのAQP4機能促進薬TGN-073投与による治療効果の検証	慶應義塾大学 薬学部	教授	三澤 日出巳	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
23005	プロジェクト型	新規	シクレイノパチー脳におけるエクソソーム関連タンパク質の関与	弘前大学大学院医学研究科	助教	三木 康生	病理学分野	柿田 明美
23006	プロジェクト型	新規	統合的マルチオミクス解析による神経筋変性疾患の病態解明	国立精神・神経医療研究センター	室長	間野 達雄	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
23007	プロジェクト型	新規	認知症病態における髄液クリアランス異常と脳エネルギー代謝の関連：アストロサイト機能イメージングによる評価	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構	主管研究員	高堂 裕平	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
23008	プロジェクト型	新規	中枢神経系悪性リンパ腫に対する体細胞超変異異常を標的とした治療法の創出	横浜市立大学大学院 医学研究科	准教授	立石 健祐	脳神経外科学分野	藁田 学
23009	プロジェクト型	新規	神経変性疾患病態としての脳のエネルギー代謝障害メカニズムの検証	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構	研究員	小野 麻衣子	病理学分野	清水 宏
23010	プロジェクト型	新規	CANVAS病態解明を目指したRFC1ノックアウトマウスの開発	公立大学法人 横浜市立大学	准教授	土井 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
23011	プロジェクト型	新規	自己開始運動の発生に影響する要因および神経基盤の解明	中京大学	任期制講師	酒多 穂波	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
23012	プロジェクト型	新規	グリアリンパ系の機能促進がタウのクリアランスと蓄積に与える影響の解明	東京大学	助教	山田 薫	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
23013	プロジェクト型	新規	神経変性疾患に関わる遺伝子群の網羅的解析	東京大学大学院	准教授	堀 由起子	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
23014	プロジェクト型	新規	ALSモデルマウスを用いた揮発性薬剤の解析	群馬大学	教授	鳥居 征司	脳神経内科学分野	金澤 雅人
23015	プロジェクト型	新規	Alzheimer病とその合併疾患に関する臨床病理学的研究	聖マリア病院	主幹	杉田 保雄	病理学分野	柿田 明美
23016	プロジェクト型	新規	ドーパミン生合成遺伝子の改変によるジストニア・パーキンソン症発症機構の解析	東京工業大学	教授	一瀬 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
23017	プロジェクト型	新規	新生仔期の大脳皮質神経回路発達メカニズム	国立遺伝学研究所	教授	岩里 琢治	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
23018	プロジェクト型	新規	タウがポストシナプスタンパクの組織化に与える影響	理化学研究所	基礎科学特別研究員	佐野 俊春	細胞病態学分野	三國 貴康
23019	プロジェクト型	新規	慢性疼痛薬開発に向けた中枢神経系での分子機能解析	関西医科大学	准教授	片野 泰代	モデル動物開発分野	阿部 学
23020	プロジェクト型	新規	コレラ毒素受容体CCK1Rの脳腸機能相関における伝達基盤解明	北海道大学大学院医学研究院	教授	渡辺 雅彦	モデル動物開発分野	阿部 学
23021	プロジェクト型	新規	脳腫瘍におけるSLFN11の機能解析	愛媛大学	准教授	村井 純子	病理学分野	藁田 学
23022	プロジェクト型	新規	脳神経病理薄切標本における顕微分光技術	国立研究開発法人 理化学研究所 脳神経科学研究センター	チームリーダー	宮脇 敦史	病理学分野	柿田 明美
23023	プロジェクト型	新規	脳機能画像と髄液バイオマーカーの対比の検討	東京医科大学	主任教授	清水 聡一郎	遺伝子機能解析学分野	春日 健作
23024	プロジェクト型	新規	TGN-073を用いた薬物動態改善の分子機構解明	東京医科歯科大学	教授	横田 隆徳	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
21005	プロジェクト型	継続	体内時計を制御するオファン受容体のリン酸化変動を介した睡眠制御機構の解明	京都大学大学院	教授	土居 雅夫	モデル動物開発分野	阿部 学
21006	プロジェクト型	継続	日本人由来ヒトアルツハイマーアミロイドのNMR研究	東京工業大学	教授	石井 佳誉	病理学分野	柿田 明美
21008	プロジェクト型	継続	マルチスケールイメージングによる大脳基底核の機能解明	大阪大学	教授	小山内 実	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
22001	プロジェクト型	継続	ゲノム情報を基盤とした認知症の病態解明	国立長寿医療研究センター	部長	尾崎 浩一	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
22002	プロジェクト型	継続	精神疾患死後脳が多層層解析	東北大学災害科学国際研究所	准教授	國井 泰人	病理学分野	柿田 明美
22005	プロジェクト型	継続	ATN分類における γ -secretase活性変化の解析（継続）	同志社大学	助教	角田 伸人	遺伝子機能解析学分野	春日 健作
22010	プロジェクト型	継続	逆行現象（postdiction）の脳内メカニズムの研究	京都大学ヒト行動進化研究センター	特定助教	勝山 成美	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
22012	プロジェクト型	継続	新規アルツハイマー病病理モデルマウスを用いたA β 蓄積依存性変動遺伝子の網羅的解析	国立精神・神経医療研究センター	部長	橋本 唯史	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
22013	プロジェクト型	継続	脳虚血病巣と腸管機能および腸内細菌叢の連関におけるエクソソームの関与の検討	日本医科大学大学院	准教授	西山 康裕	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
22014	プロジェクト型	継続	内因性カンナビノイド2-AGによる歯状回顆粒細胞を介した記憶制御機構の解明	東京大学	講師	菅谷 佑樹	モデル動物開発分野	阿部 学
22015	プロジェクト型	継続	アルツハイマー病シングルセルデータを用いた統合ゲノム解析	東京大学	特任准教授	菊地 正隆	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
22016	プロジェクト型	継続	神経膠腫におけるがん代謝を標的とした治療法の開発	藤田医科大学	准教授	大場 茂生	脳神経外科学分野	藁田 学
22018	プロジェクト型	継続	血中糖タンパク質の由来臓器同定方法の確立	関西医科大学	准教授	赤間 智也	モデル動物開発分野	阿部 学

22019	プロジェクト型	継続	遺伝子改変マウスの神経活動を記録し、パーキンソン病の病態生理を解明する	自然科学研究機構 生理学研究所	助教	知見 聡美	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
22020	プロジェクト型	継続	絶対音感の神経基盤の解明	福島県立医科大学	助教	松田 将門	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
22021	プロジェクト型	継続	ポリプロテインノバチーとしてのグアム島のパーキンソン認知症とALS：タウ、TDP-43、アルファシヌクレイン、ユビキチンの蓄積様態と神経細胞脱落メカニズム	信州大学	特任教授	小柳 清光	病理学分野	柿田 明美
22022	プロジェクト型	継続	線条体投射神経細胞特異的Tsc1遺伝子ノックアウトマウスの遺伝子発現解析	岡山大学	助教	宮崎 晴子	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
22023	プロジェクト型	継続	知覚判断とアルファ振動の関係を検討する心理実験および脳機能計測	中京大学	教授	近藤 洋史	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
23501	資源利用型	新規	MRIによる拡散時間依存信号におけるアクアポリン機能動態の定量	東京都立大学	准教授	畑 純一	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
23502	資源利用型	新規	ロングリードシーケンシングを用いた脳部位特異的に発現するアイソフォームの探索	国立国際医療研究センター	上級研究員	嶋多 美穂子	病理学分野	柿田 明美
23503	資源利用型	新規	Pin 1 遺伝子欠損マウスとヒト神経変性疾患の病理的相関性の検討	東京薬科大学	大学教授	大滝 博和	病理学分野	柿田 明美
23504	資源利用型	新規	脳疾患モデルマウスの生殖工学技術を用いた系統保存・生産システムの開発	公益財団法人 実験動物中央研究所	室長	後藤 元人	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
23505	資源利用型	新規	疾患モデル動物の作製、保存、輸送に有用なゲノム編集および生殖工学技術の開発	熊本大学	教授	竹尾 透	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
23506	資源利用型	新規	核酸アプタマーをもちいた患者剖検脳における α -シヌクレインの検出	富山大学	助教	泉尾 直孝	脳疾患標本資源解析学分野	柿田 明美
21504	資源利用型	継続	運動ニューロン変性に関与する翻訳後修飾の同定	北里大学	教授	佐藤 俊哉	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
22503	資源利用型	継続	神経変性疾患のPETイメージングの開発	国立長寿医療研究センター	副部長	木村 泰之	脳疾患標本資源解析学分野	他田 真理
22506	資源利用型	継続	神経・筋疾患の動物モデル化による病態の解析	国立精神・神経医療研究センター	研究員	今村 道博	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
22507	資源利用型	継続	神経組織特異的Scrapperノックアウトマウスの作出と学習行動に関する解析	関西学院大学	教授	矢尾 育子	モデル動物開発分野	阿部 学
22509	資源利用型	継続	遺伝性白質脳症におけるミクログリアの役割解明	京都大学	特定助教	濱谷 美緒	脳疾患標本資源解析学分野	他田 真理

※ 所属および職名は申請時のものです。

List of Global Collaborative Research Project FY2022, Brain Research Institute, Niigata University

	Project#	New Renew	Project Title	Principal Investigator			BRI Host Collaborator	
				Affiliation	Position	Name	Dept	Name
1	G202001	Renew	Hydrodynamic Pathology of the Brain	Neurology, Univ. of California Davis	Prof.	Ingrid L Kwee	Center for Integrated Human Brain Science	Hironaka Igarashi
2	G202004	Renew	The role of striatal direct and indirect pathways and dopamine D2 isoforms in the pathophysiology of psychosis	Department of Pharmaceutical Sciences & Health Outcomes, Ben and Maytee Fisch College of Pharmacy, The University of Texas at Tyler	Associate Prof.	Yanyan Wang	Comparative & Experimental Medicine	Toshikuni Sasaoka
3	G202005	Renew	Investigation of the role of neuromodulators in state transition of neural dynamics to represent a behavioral goal	Max Planck Institute for Brain Research	Research Group Leader	Hiroshi Ito	Cellular Neuropathology	Takayasu Mikuni
4	G202006	Renew	Investigating the role of BAI1 in the tumor cell invasion of malignant glioma	Department of Neurosurgery, School of Medicine and O'Neal Comprehensive Cancer Center, University of Alabama at Birmingham	Assistant Prof.	Satoru Osuka	Neurosurgery	Yukihiko Fujii
5	G202007	Renew	Investigation of pathogenesis of Alzheimer's disease using mouse models	Dept. Neurobiology, Univ. of Massachusetts Medical School, Brudnick Neuropsychiatry Research Institute	Assistant Prof.	Kensuke Futai	Comparative & Experimental Medicine	Toshikuni Sasaoka
6	G202101	Renew	Production of transgenic mouse lines for labeling retinal cell types and analyses of their roles in visual function	DANDRITE, Department of Biomedicine, Aarhus University	Associate Prof. / Group Leader	Keisuke Yonehara	Comparative & Experimental Medicine	Toshikuni Sasaoka
7	G202102	Renew	Characterization of novelty circuits responsible for memory boosts	Department of Biomedicine, Aarhus University	Associate Prof.	Tomonori Takeuchi	System Pathology for Neurological Disorders	Kazuki Tainaka
8	G202201	New	High expression of SLFN11 induces sensitivity to DNA damaging agents in medulloblastoma	Departments of Pathology, Oncology, and Ophthalmology Chief of Ophthalmic Pathology Director of Neuropathology, Johns Hopkins University School of Medicine	Prof.	Charles G. Eberhart	Neurosurgery	Yukihiko Fujii
9	G202202	New	Sphingosine kinase 2 in Huntington disease	Department of Neurology, The University of Texas McGovern Medical School at Houston	Assistant Prof.	Andrey Tsvetkov	Pathology	Akiyoshi Kakita
10	G202203	New	Sex differences in iron deposition in the brain	Department of Neurology, University of Texas Health Science Center at Houston, McGovern Medical School	Associated Prof.	Jose Felix Moruno-Manchon	Pathology	Akiyoshi Kakita